

(3) F タームとは

総合内閣

総務省

① F ターム

F タームとは、文献量の著しい増大に対応し、特許審査のための先行技術調査を迅速に行うことを目的として、日本国特許庁が開発した我が国独自の機械検索用の技術分類です。

国際特許分類（IPC）が単一の観点（下例では「構造」の観点）で特許情報を分類しているのに対して、F タームは複数の観点（下例では「用途」と「製法」の観点）で分類しているため、F タームを用いることにより、IPC や FI よりも機械検索で特許文献を絞り込むことが可能となります。F タームは、テーマコード（5 桁）+ 観点（2 桁のアルファベット）+（数字 2 桁）で構成されますが、通常テーマコードは別途表示されますので、一般的には、観点（2 桁のアルファベット）+（数字 2 桁）を「F ターム」とよんでいます。

（参考例） F ターム例「参考例のタームリスト（F ターム表）参照」

2C002 (テーマコード：ゴルフクラブ)

AA00 クラブの構成、…… AA02 ウッド、……

CH00 ヘッドの形状、構造、…… CH05 内部構造、……

CS00 シャフトの形状、構造、……

MM00 材質、…… MM03 発泡性樹脂、……

② F タームテーマ、FI テーマについて

全技術分野は、国際特許分類（IPC）を基に約2800（テーマ）に区分けされ、それらのテーマは、FI の分類のみで検索が十分行えるテーマ（FI テーマ：約3割）と、FI のみでは細展開が不十分等のためF タームが作成されているテーマ（F タームテーマ：約7割）とに分けることができます。

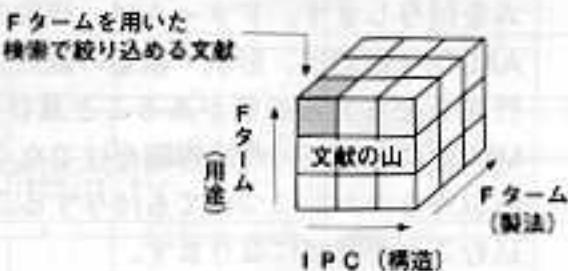
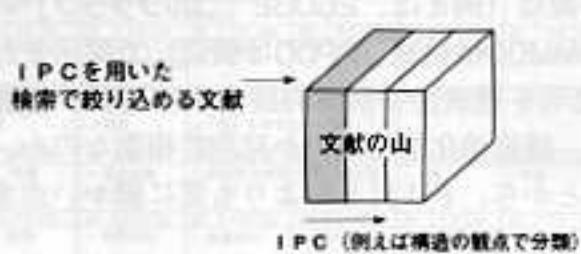
（参考例） F タームテーマコード 2B001 (F タームテーマ)

2B002 (F タームテーマ)

2B003 (F タームテーマ)

……

（参考例） IPC、F タームでの絞り込み例



(4) 分類の項目数

各分類の項目数は下記の通りであり、日本の細展開の分類項目数が比較的多いのですが、その理由は、次のように考えられます。

- ①検索対象としている文献数が多いため
- ②機械検索が世界で最も進んでいるため